

事務事業名	〈H25拡充〉ビッグテンイヤープロジェクト		所属部局	秘書課	単位番号	2012-900001																												
	□ 実施計画事業		所属課室	秘書課	課長名	中村 博明																												
			所属担当	秘書担当	担当者名	櫻本竜哉																												
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項 01	目 01	細目 040	細々目 08																								
政策	01	行財政改革の推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金																														
施策	02	行政改革の推進																																
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (24 ~ 25 年度)		法令根拠																															
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市制10周年記念の年である平成25年をビッグテンイヤーとして、国文祭イベントも含めて 統合し、1年を通して市民が楽しめるようなプロジェクトとする。 JA、商工会、青年会議所などの協力を得て、フルーツライアスロン大会、4分の3成人式 など新規のイベントも行うなかで、10周年を祝う。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) <table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>広告料</td> <td>2,718</td> <td>需用費</td> <td>825</td> </tr> <tr> <td>その他委託料</td> <td>257</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>1,370</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交付金</td> <td>3,300</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>講師謝金</td> <td>1,388</td> <td>計</td> <td>9,858</td> </tr> </table>							項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	広告料	2,718	需用費	825	その他委託料	257			使用料	1,370			交付金	3,300			講師謝金	1,388	計	9,858
	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																														
広告料	2,718	需用費	825																															
その他委託料	257																																	
使用料	1,370																																	
交付金	3,300																																	
講師謝金	1,388	計	9,858																															

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	25年度活動実績 各既存イベントのサポートを行うほか、特に、ドライアスロン大会など新規イベントを実行委員会等により開催した。 26年度活動予定	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 検討会の開催回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 検討会の開催時間</td><td>時間</td></tr> </table>	名称	単位	ア 検討会の開催回数	回	イ 検討会の開催時間	時間
名称	単位								
ア 検討会の開催回数	回								
イ 検討会の開催時間	時間								
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	25年度開催のイベント	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア イベント数</td><td>個</td></tr> </table>	名称	単位	ア イベント数	個		
名称	単位								
ア イベント数	個								
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	25年開催のイベントに統一性をもたせ、相乗効果を出すと共に、市民を巻き込んで盛大に10周年を祝う。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア イベント参加者数</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア イベント参加者数	人		
名称	単位								
ア イベント参加者数	人								
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	南アルプス市のイメージアップ	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 南アルプス市のブランド</td><td>位</td></tr> </table>	名称	単位	ア 南アルプス市のブランド	位		
名称	単位								
ア 南アルプス市のブランド	位								

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円			9,000				
		一般財源	千円	1,623	10,175	858				
		事業費計(A)	千円	1,623	10,175	9,858	0	0	0	0
人件費	内訳	正規職員従事人数	人	2	2	2				
		延べ業務時間	時間	100	300	500				
		人件費計(B)	千円	455	1,365	2,276	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	2,078	11,540	12,134	0	0	0	0
活動指標	ア	回			25.0	12.0				
		イ 時間			75.0	24.0				
対象指標	ア	個			0.0	25.0				
		イ								
成果指標	ア	人			0.0	10,415.0				
		イ								
上位成果指標	ア	位			133.0	128.0				
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成23年度後半に、25年度が市制10周年記念の年であり、国文祭も開催されることから、市民こぞってイベントに参加し10周年を祝おうということで、計画づくりが始まった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	桃源郷マラソン大会など既存のイベントもマンネリ化は否めず、当初の目的を再認識し、何のために開催するかを明確にしていく必要性が指摘されている。ビッグテンイヤープロジェクトで見直しを図り、新規イベントも開催。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	市民有志から積極的な参画の意向が寄せられ、計画づくりにも積極的に参加していただいた。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	市民参加の実行委員会の組織と計画づくりへの参画。実行委員5人の市民の積極的な関与、基本構想の見直しと新規イベント創出などを担当していただいた。25年度は、イベントボランティアの先頭に立ち、イベントへの市民参加を促す役割を担っていく。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	実行委員5人が積極的にイベント創出に関わり市民参加のプロジェクトとしての役割を担った。

事務事業名	《H25拡充》ビッグテンイヤープロジェクト	所属部	秘書課	所属課	秘書課
-------	-----------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民憲章を究極の目標としたイベントの開催。イベントは市民参加を促し、市を積極的にPRするもので、南アルプス市のブランド化を図っていくと考える。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市主催のイベント、共催あるいは、実行委員会への参画など、様々な形態が考えられるが、市の関与はイベントが市のPRやブランド化など公共性があることから、関与は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 平成25年度で終了する事業である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 平成25年度で終了する事業である。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 平成25年度で終了する事業である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 平成25年度で終了する事業である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 平成25年度で終了する事業である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 参加する市民については、広報等で公平に呼びかけているので、公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市制誕生10周年の記念プロジェクトとして、多くの市民に参加してもらったことができ所期の目的は達成できた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 平成25年度限りの事業である。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					